

令和元年度 事業所向け 児童発達支援自己評価表 ひよこのおんぷ

5名回収

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善策
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	2	2	・現在利用している児童に関しては適切 ・構造化は適宜修正しており、個の状況に応じた環境設定を調整している。物理的なバリアフリーに関しては、トイレの前に段差があるなどの現状であるが、利用児童の現状から、現段階での改善は必要ないと判断している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所等の開放やホームページ等で公開しているか	1	3	1	・今後公開予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	0	0	5	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・法人内の研修に参加するだけでなく、事業所独自の研修に近隣事業所の職員を誘うなど、職員の資質向上に常に務めている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	5	0	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	5	0	0	
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	
適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	0	0	・個の状況を見て、不定期にプログラムの変更を行っている。飽きの来ない、この状況に応じたプログラム内容の提供ができています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	5	0	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・共有するだけでなく、改善できる具体策を検討し、すぐに実行している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	

関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	・積極的に併用先の事業所に連絡を取り、一貫した支援が実施できるよう情報共有に努めている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・非該当 法人として医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていないが、今後受け入れられるよう改善していく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	0	0	・移行支援としての担当者会議が開催される際には参加する。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	0	5	・対象児童がいない
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	1	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	0	5	・地域のイベントや事業所内での発表会等機会を作る
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	0	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	5	・保護者参加イベントを企画し、支援の糸口を見つける
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	5	0	0	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0	
	㉞	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	㉟	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	・次年度茶話会実施予定
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	㊲	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	0	4	・行事はないが、見学や体験等は積極的に受け入れている。イベント等を企画し、発信し、理解を促していく。
	㊶	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	4	1	
㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	0	0	5	・3月に実施 ・次年度以降は年間4回の防災訓練(火事、地震、水害、不審者)を計画している。	

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5	0	0	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	0	4	・非該当
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	1	・現状としてヒヤリハットがない
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	4	0	・法人としての研修に参加している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	0	0	

令和2年3月実施